



新年明けましておめでとうございます。

新しい年（令和7年・2025年）を迎え、皆様方におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、多大なご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月の話になりますが、子どもたちの気づきにとてもうれしかったことをお話ししたいと思います。



人権のお話「跳び箱」

12月4日～10日は人権週間でした。なので、子どもたちに、全校朝会で、熊本県に住む小学3年生の女の子の作文を紹介しました。お話は下記のようなお話です。

「女の子は、体育の跳び箱の時間がとても嫌でした。なぜかというと、体育が苦手で、みんなの飛んでいる跳び箱がうまく飛べないからです。それにうまく跳べないことを、周りの子が笑っているようにも感じるからです。その日も何回練習してもうまく跳べませんでした。はじめはお友達がこそこそと笑っているように思えた声が、だんだんと大きな声で笑っているようにも感じました。そんな時「笑うな。」と、ある男の子が声をかけてくれたのです。一瞬静まり返ったのですが、そのあとで、みんなが、「笑ってごめんね。」「頑張って。」「〇〇したらいいよ。」と声をかけてくれるようになって、見事、女の子は、初めて跳び箱が飛べました。」という作文です。

私は、「この話の中でだれが一番えらいと思いますか。」子どもたちに聞きました。

「笑うな。」その声を発した男の子のことは発表してくれるだろうと思いました。案の定、初めに「この男の子がかっこいい。」という話がみんなの中から出てきました。

でもこの話にはまだ「えらいなあ。」と思う人が私にはいて……。

子どもたちは、次々に意見を言ってくれます。「苦手なのに、最後まで頑張って、跳び箱を頑張って練習している女の子もえらい。」そうです！「苦手なことにもあきらめずに取り組んでいる子の女の子のこと、よく気が付いたね。」私はうれしくなりました。するとまた次に手が上がりました。「『笑ってごめんね。』って言った後、一生懸命女の子を応援した人。」そうなんです！失敗することは誰にでもある、けれどそのあと、「ごめんね。」と言えた人、気持ちを改めた人、どっちもえらいくないですか。

子どもたちから、3つのえらい行動が全部出てきたことが、驚きとともに、天見小学校の子どもたちの人権感覚の鋭さに思わずうれしく感じた全校朝会でした。

3学期も、この気持ちを大切に子どもたちと頑張ります。

アンパンマン（真のヒーローとは？）



次回のNHKの朝ドラは「やなせたかしさん」のお話だそうです。5年生の国語の教科書に、「やなせたかしさん」の伝記が加わりました。アンパンマンに込めた「やなせたかしさん」流の正義が、教材を読んでいて、心に入ってきたので紹介させていただきます。

戦争に兵士として中国大陸に行った経験のあるやなせさんは、戦地でも、戦後に日本に帰ってきても、食べ物がなく、つらい思いをしたそうです。そして、自分の国が正しいと言い、違う国の人と殺し合いをする戦争が正義というのは間違いだと感じられたそうです。

そんなある日、幼い兄弟が、おにぎりを分け分けしながら幸せそうに食べているのを見て、「戦争は、人を殺すことだが、食べ物を分けることは、人を生かすことであり、命を応援することだ」と気づかれたそうです。

そこから、絵が好きだったやなせさんは、「顔が濡れただけで力をなくしてしまう。」「困った人や傷ついた人が現れたら自分の顔を食べさせてあげる。」、アンパンマンというヒーローを誕生させたのでした。

はじめ、アンパンマンはカッコ悪いと評判が良くなかったそうです。「顔を食べさせるなんて残酷だ。」という人もいたそうです。

でも、やなせたかしさんは、そういった人に「人を助けようと思ったら、自分も傷つくことを覚悟しなければならない。」とおっしゃったそうです。

「自分の食べ物をあげてしまったら、自分が飢えるかもしれない。

いじめられている人をかばったら、自分がいじめられかもしれない。

それでもどうしても誰かを助けたいと思う時、本当の勇気が湧いてくるんだ。」

そして、東日本大震災の時に、被災している自分もどんなにかつらいはずなのに、みんなが互いに励まし合い、助け合っている姿を見て、また、悲しみを心にしまつて、他の人たちのために一生懸命に働いている人が大勢いた、こういう人たちこそが、本当のヒーローだとやなせさんは思ったそうです。

正義の味方、ヒーローっていうと、どんな人のことなのでしょう？

アンパンマンは、かっこいい武器を持っているわけでもない、顔が濡れただけで力をなくしてしまう、困った人や傷ついた人が現れたら自分の顔を食べさせてあげて、半分顔がなくなってしまう。

どう見ても、見た目は、カッコ悪いですよ。

でも、本当に、へなへなになったアンパンマンはかっこ悪いでしょうか。

本当に、顔を半分食べられたアンパンマンはカッコ悪いでしょうか。

ジャムおじさんに助けてもらって新しい顔を取り返すアンパンマンはカッコ悪いでしょうか。

アンパンマンの姿から「本当の正義」とは、「人を生かし、命を応援すること」であり、それを、やなせさんの伝記から学んだように思いました。やなせさんの言葉を読んで、正義って、何だろうと考えました。「痛みを半分に分けたり、喜びを倍にしたり、相手のことをきちんと考えられる姿」こそ、正義なのではないかと思いません。人間だからこそできる思いやり、大切にしていかなければと、思いました。

アンパンマンは、いつもみんなの気持ちを考えられるから、自分が困っているときには、ジャムおじさんのように助けてくれる人が現れるのだと思います。

見た目なんて、かっこ悪くても全然関係ないですね。みんなのことをちゃんと考えられる人こそが本当のヒーローなんですよ。